

生涯学習課

生涯学習推進事業

1. 社会教育委員事業

(内 容) 社会教育に関する諸計画・事業及び社会教育関係団体への支援に係る調査審議を行いました。

市関係

- 第1回栗東市社会教育委員会議 7月24日(木) 危機管理センター3階 大研修室
- 第2回栗東市社会教育委員会議 1月27日(火) 危機管理センター3階 大研修室

県関係

- 滋賀県社会教育委員連絡協議会第1回理事会
 - ・5月19日(月) 13:30～(事務局参加)
 - 会場：県庁東館7階大会議室
 - 役員改選
 - 令和6年度事業報告および決算報告
 - 令和7年度事業計画(案)・予算(案)
 - 情報交換
- 研修会
 - ・6月12日(木) 13:30～(水野委員、西尾委員、三浦委員、事務局参加)
 - 会場：米原市役所 市民交エリアコンベンションホール
 - ・指導助言『「行動する社会教育委員」とはなんぞや?』
神部 純一 氏(滋賀大学教育学部 教授・長浜市社会教育委員)
 - ・「県内の社会教育委員の実践から学ぶ」～社会教育委員体験記より～
 - ①「社会教育委員としての想い」
鷺田 新介 氏(野洲市社会教育委員)
 - ②「知らない世界を知ること～社会教育委員になったわたし～」
中村 有利 氏(甲賀市社会教育委員)
 - 情報交換・交流
- 滋賀県社会教育研究大会および滋賀県社会教育委員連絡協議会第2回理事会
 - ・11月6日(木) 10:00～(水野委員、事務局参加)
 - 会場：県庁東館7階 大会議室
 - 滋賀県社会教育研究大会 進行確認
 - 令和8年度全国社会教育研究大会〔兼近畿大会〕(大阪大会)について
 - 情報交換

・11月6日(木) 13:30～

(水野委員、西尾委員、川那邊委員、三浦委員(オンライン)、事務局参加)

表彰式 被表彰者：西尾委員、川那邊委員

講演 「持続可能な地域づくりに貢献する社会教育」

～次期学習指導要領の改訂を見据えて～

講師 清國 祐二 氏(大分大学院教育学研究科教授)

情報交換会、全体交流

テーマ「これからの活動につなげるために」

進行役 中村 弘美 氏(守山市立河西会館 地域づくり推進員・社会教育士)

○滋賀県社会教育委員連絡協議会第3回理事会

・2月13日(金) 14:30～

会場：東館7階大会議室

令和8年度 研修会について

その他

情報交換

(成果・課題)

滋賀県社会教育委員連絡協議会研修会や滋賀県社会教育研究大会などに参加いただいたことで、社会教育委員としての見識を深めていただくことができました。また、県内外各地で活躍されている社会教育委員との情報交換の場は、活動の現状についての認識を深めることもできました。

これからも一人でも多くの社会教育委員がさまざまな研修会に積極的に参加し、今後の社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりに活かせるような意見交流の機会が重要で、本市においても研修事業を実施していく予定です。

2. 生涯学習情報提供事業

(内容) 生涯学習に関する情報の提供をします。

○生涯学習人材バンクへの登録募集と登録者の紹介(13人)

○生涯学習活動団体の登録と活動の紹介(33団体)

(成果・課題)

市民からの問合せに対し、人材バンク登録者や活動団体の紹介を行いました。

ライフスタイルの多様化により、地域活動などで余暇を過ごすだけでなく、気のあった仲間同士で余暇を過ごされる方が多くなり、地域リーダーが年々減ってきている現状から、生涯学習講座などを開催するなかで、将来、地域でリーダーとして活動していただける人材を育成する必要があります。

また、生涯学習活動団体の登録者数については減少傾向にあり、ボランティア市民活動センターと情報発信について連携しつつ、制度のPRを含め、広報を行う必要があります。

3. 人権教育巡回講座事業

●人権教育巡回講座事業

(内 容) 人権に係る市民への啓発研修事業として、「人権教育巡回講座」を研修内容の一層の充実と参加者層の拡大をめざし、主として各学区住民が参加の対象となる各中学校区の人権教育地域ネット協議会の「小学校区運営委員会主催の研修事業」に兼ねるという形で、下記の開催実績のとおり実施しました。

☆「人権教育研修会」開催実績

学区	開催日時	会場	講師・形態	人数	テーマ
金勝	12/5(金) 19:00~20:15	コミセン金勝	安岡寛 さん	64 人	「言葉の力で『三方よし』」
葉山	11/25(火) 9:00~11:05	葉山幼稚園	安岡寛 さん	69人	『言葉の力でみんな笑顔!』
葉山東	1/28(水) 10:30~12:10	葉山東小学校	安岡寛 さん	人	『子どものやる気を引き出す言葉の力』
治田	11/29(土) 10:00~11:00	コミセン治田	田中和哉 さん	76人	『なかよし作業所で仲間とともに働く意味とは』
治田東	11/16(日) 10:10~10:40	コミセン治田東	yokko さん	約500 人	人権コンサート 『歌と手話で元気になろう!』
治田西	6/18(水) 15:00~16:00	治田西小学校	車いすバスケットボール チーム 「LAKE SHIGA」さん	143人	ハートフル人権講演会 『車いすバスケの魅力と共生社会』
大宝	11/30(日) 17:00~18:00	栗東駅前 東口広場	yokko さん	約500 人	人権コンサート『星空コンサート』
大宝東	11/16(日) 10:00~13:00	ウイングプラザ ポケット広場	啓発活動発表	約500 人	ふれあいフェスタ2025
大宝西	12/13(土) 10:20~12:00	ひだまりの家	意見交流会	40人	十里まちづくり授業を受けて & 意見交流会

(成果・課題)

「小学校区人権ネット研修会」と兼ねて学区ごとに開催しました。学区運営委員会でテーマを考え、講演、体験活動、意見交流会など、さまざまな形で研修会を実施しました。多くの参加者が学ぶ機会となり、人権意識の向上につながりました。特に、差別への憤り、差別をなくすことの大切さを感じ、一人ひとりが行動していかなければならないことを確認しました。今後も学区全体がつながり、研修会の持ち方を検討しながら、多くの人に参加し、差別解消にむけて行動できる研修会にしていきます。

●平和学習事業

- ・8月2日(土) 10時～11時 栗東歴史民俗博物館
講話 『戦争と栗東』
体験 「平和のいしずえ展」見学
- ・8月9日(土) 10時～11時 栗東歴史民俗博物館
講話 『戦争とくらし』
体験 「旧中島家住宅」見学と火吹き体験

(成果・課題)

今年度は、事前にテーマ決め、そのテーマにスポットをあて、栗東歴史民俗博物館の学芸員からわかりやすく、丁寧に話をさせていただきました。また、戦時下のモノに触れる場面では、実際に触れることで当時の生活にせまることができて、深い学びにつながりました。今後もさらに内容を充実させ、多くの参加者に来ていただき、平和の大切さを伝えていく機会にしていきます。

4. コミュニティセンター等における社会教育事業

(内 容) コミュニティセンター、児童館、環境センターにおいて、多様で充実した学習機会や情報の提供や交流等のための各種事業を実施しました。

○はつらつ教養大学事業

全コミュニティセンターで45回開催を予定し、現在では2月開催の9回を残すのみです。学区によってはコミセン独自事業としてカウント講座が開催されました。

主な内容：健康運動、健康情報、認知症予防、安心安全、食生活、音楽に親しむ、芸能に親しむ、クラフト講座など日常生活が楽しく豊かになる講座内容で提供しました。

○社会教育重点3事業

3つの重点テーマを設け、各テーマについて実施しました。

- 重点テーマ ①子育て…………… 親子英語、親子お菓子作り、親子リトミック、親子リズム体操
②まちづくり… 平和学習、滋賀の気象特性と防災気象情報、相続・贈与の基礎知識、知っておきたいお金の話、睡眠セミナー
③環境…………… グリーンカーテンで夏を楽しもう、ホテル観察学習会、夏休み自由研究教室、親子環境教室（ランタン工作教室）

○スマホ講習会

(内 容) 情報機器の知識・利用能力を高めることにより、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、デジタルに不慣れな方に対しスマホ講習会を実施します。

	2月2日(月)	2月4日(水)	2月9日(月)	
場所	コミセン葉山	コミセン大宝東	コミセン治田東	コミセン大宝西
10:00～12:00	基本講座 ①	基本講座 ①	基本講座 ②	基本講座 ②
13:30～15:30	応用講座 ①	応用講座 ①	応用講座 ②	応用講座 ②

- 基本講座 ① ネットやアプリを使ってみよう、LINE を使ってみよう
- 基本講座 ② ネットやアプリを使ってみよう、スマホを安全に使おう
- 応用講座 ① A I を使ってみよう、防災アプリを使ってみよう
- 応用講座 ② A I を使ってみよう、スマホで詐欺対策

(成果・課題)

「はつらつ教養大学事業」については参加者に対して行うアンケートによる意向調査をもとに、各コミセン並びに学区の受講者と協議を行いニーズにあった講座を開催することができました。参加した回数により表彰を受けられるため、参加意欲が高められ、生涯学習への関心を持つことができました。

より多くの高齢者に参加していただけるよう広く啓発することや、必要課題について現状を把握し、社会教育のあり方を検討するとともに、市民が主体的に学ぶことができる環境を醸成し時代にあった内容や設定を工夫して取り組んでいます

「社会教育重点3事業」では、広く市民に広報媒体を活用して周知し、参加への気運を高めています。

青少年教育推進事業

1. 「放課後子ども教室」推進事業

(内 容) 地域で子どもを育てる環境の整備と子どもを中心とした地域住民の交流を推進することができました。

- 放課後子ども教室 5月～2月 8小学校区(金勝、葉山東、治田、治田東、治田西、大宝、大宝東、大宝西)

(成果・課題)

スタッフの皆様のご協力のもと、子どもたちの放課後の居場所づくりを行うことができました。未実施の小学校区においては、実施に向けての説明の機会をいただき、今後も継続的に協議を進めていく予定です。

スタッフの減少及び高齢化が長年の課題であり、様々な場面で声掛けをしていますが今後も保護者などにも呼びかけていく予定です。

2. アドベンチャーキャンプ事業

(内 容) 集団生活を通じて自己を見つめ、友情を育み、仲間づくりの大切さと素晴らしさを理解し、創造性や自立心を身につけ、地域の青少年活動リーダーを養成することができました。

- 出会いと交流のつどい 11月15日(土) 学習支援センター

- 自然体験研修・思い出と友情のつどい

11月30日(日) 高取山ふれあい公園

(実施主体) 栗東市アドベンチャーキャンプ実行委員会

参加者 小学生4名、中学生2名、高校生2名、実行委員6名、生涯学習課4名 計16名

(成果・課題)

野外活動等を通じて、仲間と協力しあうことの大切さを感じることができました。

小学生から参加してくれている中高生リーダーがこれからも継続して活動に参加することで、将来の指導者へと育ってくれるよう育成していく必要があります。

また、これからの栗東を担っていく世代である実行委員会を組織している大学生リーダーを、継続して育成していけるような事業のあり方を検討していく予定です。

3. 青少年育成（活動）団体事業

(内 容) 青少年育成（活動）団体との連携及び支援を行いました。

- 栗東市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
- 栗東市PTA連絡協議会
- 栗東市少年少女発明クラブ

(成果・課題)

青少年育成活動を行っている団体に対する活動の支援につながりました。

4. 栗東市人権問題青年集会事業

(内 容) 人権問題に対する正しい理解と解決に向けての意識改革の推進を目的に、市内在住・在勤の青年に「人権問題」について何ができるのかを考えてもらい、差別のない社会の実現をめざします。

2月頃（予定） 視察研修
(実施主体) 栗東市人権問題青年集会実行委員会

(成果・課題)

今後においても地元で活動する青年部とも交流を深め、より深く自分のこととして考えられるような研修等の機会の設定を検討していきます。

5. 子ども読書活動推進計画の推進と進捗管理

(内 容) 第4次子ども読書活動推進計画（計画期間 令和7年度～令和11年度までの5年間）の推進と進捗管理を行います。

(成果・課題)

学校教育課、図書館、こども家庭センター、子育て支援課、ひだまりの家など子どもの読書活動推進に関係する所属間で、子どもたちが読書に興味をもってもらえるよう、また個々の取組について協力しあいながら推進していけるようより一層の連携が必要です。

青少年対策（育成）事業

1. 青少年育成市民会議事業

（内 容）地域教育力の回復と健全な環境での青少年育成及び青少年の自主的活動の支援を行いました。

- 中学生広場「私の思い 2025」栗東市大会（審査会） 7月5日（土） 歴史民俗博物館
- 青少年育成ミニ会議の推進 （期間）7月～2月 各自治会で実施予定 22自治会
- 「愛のパトロール」研修会 6月7日（土） なごやかセンター
- 愛のパトロール・愛の声かけ（期間）4月～3月
- 白ポスト有害図書回収 （期間）4月～3月
- 子ども 110 番通報訓練 （期間）5月～ 市内園児・小学生対象
24の幼保、小学校で実施
- 栗東市青少年育成大会 1月24日（土） さきら中ホール
- 子ども 110 番旗の設置拡大への支援（「子ども 110 番の家」の旗 590 枚作成）
- 情報誌「息吹」発行 年1回（3月）
- ありがとうと言える子育て運動の推進
- 子育てのための12か条の推進

（成果・課題）

地域に根ざした市民団体として、青少年の健全育成を目的に「ミニ会議」の開催や「愛のパトロール」を実施することで青少年についての地域的課題の解決や保護者同士の連携を深めることに努めてきました。

青少年は地域で育てることを基盤に、大人が姿勢を正し、青少年を応援する地域づくりに向けて関係団体が共通認識をして協力しあえるように今後も働きかけていく予定です。

2. 社会を明るくする運動推進委員会事業

（内 容）青少年の非行防止と罪を犯した人への更生保護（7月強調月間）に向けた啓発活動を行いました。

- 社会を明るくする運動栗東市推進委員会7月8日（火） 書面開催
- 社会を明るくする運動法務大臣メッセージ伝達式 7月1日（火）（規模を縮小して実施）
- 街頭啓発 7月1日（火）（市内大型量販店において啓発用品の配布を実施）
- 愛の募金運動 7月～3月 自治会
- 非行防止懇談会・ケース研究会 7月～3月 自治会・団体

（成果・課題）

今年度においても街頭啓発も実施し、青少年の非行防止と罪を犯した人への更生保護に向け、各関係団体で研修会の開催や、啓発活動を行いました。また、学びを継続できる環境づくりということで、学習活動への支援を行いました。今後においても所属団体と調整し、事業の見直しを検討するとともに、効果的な内容の充実や広報啓発活動ができるよう継続して取り組む予定です。

3. はたちのつどい事業

(内 容) 今年度 20 歳を迎えられた方々への祝福及び社会における大人としての義務と責任を促しました。

- はたちのつどい 1月11日(日) さきら 大ホール
- はたちのつどい実行委員会 7月～12月 学習支援センター

(成果・課題)

今年度は、実行委員会9名による式典の協力と実行委員会企画による記念行事を開催することができました。

市内3中学校からそれぞれ出身の青年が実行委員として参画してもらえよう早期から募集していきます。

4. 自然体験学習センター「森の未来館」管理業務

(内 容) 豊かな自然の中で集団生活と宿泊研修を通じて、豊かな心を育み、明るくたくましい青少年を育成するとともに生涯学習の振興を図りました。

指定管理者・・・株式会社しびりこ(令和7年度～令和8年度)

(成果・課題)

利用者視点での運営を心がけ、民間のノウハウを活かしたサービスの提供、また、丁寧な対応を継続することにより、前年に比べ利用者数は増加傾向にあります。

今後においても金勝山周辺施設とも連携し、豊かな自然環境を活用しながら、心豊かで明るくたくましい青少年を育成するため、利用者の満足度を向上させる工夫に努め、魅力ある施設づくりを目指します。

5. 青少年問題協議会

本協議会は、地方青少年問題協議会法に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議及び関係行政機関相互の連絡調整等を目的に設置されていますが、法改正により、市町協議会設置が必置義務から努力義務へとなり、会長(市長)・委員選出(議員等)の要件が削除されています。また、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策については、生涯学習課青少年教育係、少年センターや少年補導委員会、青少年育成市民会議の活動において実施しており、また、青少年をめぐる課題の推移の中で、課題ごとに協議会や会議等で協議・検討が進められ、相互に補完し合いながら課題に取り組んでいます。

このことから、青少年の保護、矯正に関する事項についての審議・調整を目的とする協議会の役割は希薄化してきており、課題が多様化・複雑化する中で、本協議会のような包括的な協議より、各関係機関と専門的な会議においての専門化・焦点化した協議の方が、課題解決には効率的であると考え、地方青少年問題協議会法に基づく、青少年の保護、矯正に関する審議を目的とする本協議会は令和7年9月に廃止としました。

青少年における課題については、教育委員会部局に加え、市長部局や関係機関と連携し、組織横断的に取り組んでいきます。

少年センター

令和7年度 活動報告 (R8.1.5 現在)

今年度の少年センターの活動は、「栗東市少年センター活動計画」に掲げた基本方針に基づき、市少年補導委員会をはじめ、青少年育成関係機関・団体と連携しながら工夫した活動を進めた。

1 基本方針における取組の重点

- (1) 非行防止・啓発事業の推進
 - ① 小学生や中学生を対象とした、非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動の実施
 - ② 青少年健全育成のための出前講座（トーク）の実施
 - ③ 少年センターの活動についての市民へのお知らせと、相談活動の実施
 - ④ 子どもの健全な発育に害を与える恐れのある有害環境浄化活動の実施
- (2) 非行少年対策事業の推進
 - ① 街頭補導活動（下校時の安全確保や不良行為防止への呼びかけと注意）の実施
 - ② 学校からの要請による対象児童生徒への学校支援・通所支援等の実施
 - ③ 無職少年への就学や就労相談の実施
- (3) 広域犯罪への警戒と防止啓発
 - ① 薬物乱用防止やインターネット上の加害・被害防止に向けた啓発活動の実施
 - ② 広報啓発（少年センターだよりの発行）
 - ③ 市内パトロールによる防犯への意識向上
- (4) 関係機関や団体との連携と協働
 - ① 少年補導（委）員会との協働・連携
 - ② 学校や関係機関との連携
 - ③ 各種研修会等への参加による資質の向上

2 令和7年度事業報告

(1) 非行防止・啓発事業の推進

① 小学生や中学生、高校生等を対象とした、非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動等の実施

少年補導委員会啓発部会、草津警察署と協働して非行防止教室や薬物乱用防止啓発活動を実施した。

○6月・7月「非行防止教室」（小学4年生対象）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>万引きが窃盗罪である有責性、違法性、規範意識向上、小学生の処遇について
・ビデオ視聴「万引きは、ぜったい悪い！」（啓発プレゼン資料）<input type="checkbox"/>少年補導委員・草津警察署生活安全課員による講話
・初発型非行：万引き・自転車盗などについて
・夏休みの生活について |
|--|

■実施状況

No.	日時	小学校	従事者
1	6月23日(月) 2時限目 9:35~10:20	金勝小学校4年生(60名)	<input type="checkbox"/> 少年センター2名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名 <input type="checkbox"/> 金勝駐在所1名
2	6月24日(火) 6時限目 14:35~15:20	治田小学校4年生(143名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
3	6月27日(金) 6時限目 14:30~15:15	治田東小学校4年生(67名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
4	6月30日(月) 4時限目 11:30~12:15	大宝小学校4年生(90名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
5	7月2日(水) 6時限目 13:45~14:25	大宝東小学校4年生(56名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
6	7月3日(木) 2時限目 9:35~10:20	治田西小学校4年生(92名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会4名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
7	7月10日(木) 3時限目 10:45~11:30	葉山東小学校4年生(84名)	<input type="checkbox"/> 少年センター2名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
8	7月11日(金) 5時限目 13:45~14:30	葉山小学校4年生(49名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
9	7月14日(月) 3時限目 10:40~11:25	大宝西小学校4年生(60名)	<input type="checkbox"/> 少年センター2名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名



○10月・11月「薬物乱用防止教室」(小学校6年生対象)

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 少年補導委員による「薬物乱用」、「危険な薬物」、「たばこの喫煙」の違法性等の解説
・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」(リーフレット)
<input type="checkbox"/> 草津警察署生活安全課員による講話
・青少年乱用の実態、誤った情報への注意喚起、薬物の危険性について |
|--|

■実施状況

No.	日時	小学校	従事者
1	10月23日(木) 6時限目 14:35~15:20	治田小学校6年生(118名)	<input type="checkbox"/> 少年センター2名 <input type="checkbox"/> 補導委員会4名
2	10月27日(月) 3時限目 10:40~11:25	治田東小学校6年生(62名)	<input type="checkbox"/> 少年センター2名 <input type="checkbox"/> 補導委員会4名
3	11月4日(火) 2時限目 9:35~10:20	治田西小学校6年生(85名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
4	11月6日(木) 5時限目 13:45~14:30	葉山小学校6年生(72名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名

5	11月14日(金) 6時限目 14:20~15:00	大宝東小学校6年生(52名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会2名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
6	11月18日(火) 3時限目 10:40~11:25	大宝小学校6年生(104名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名
7	11月21日(金) 2時限目 9:35~10:20	金勝小学校6年生(53名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名 <input type="checkbox"/> 補導委員会3名 <input type="checkbox"/> 草津警察署1名

※葉山東小学校(対象96名)は、2月に学校独自の薬物乱用防止教室を実施予定。大宝西小学校はインフルエンザ流行のため中止

○10~11月「薬物乱用防止啓発パネル巡回展示」(市内中学校、県立高等学校等対象)

- 学校のエントランスの一角に展示コーナーを設け、県薬務課から借用した薬物乱用防止啓発パネル8枚を各校約一週間展示する。
- 薬物乱用防止啓発物品をパネル横に設置し、配付する。

■実施状況

No.	展示日時	実施校	従事者
1	10月1日(水)~7日(火) 10:00~14:00	滋賀県立栗東高等学校(536名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名
2	10月8日(水)~14日(火) 10:00~14:00	滋賀県立国際情報高等学校(713名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名
3	10月15日(水)~21日(火) 10:00~14:00	滋賀県立聾話学校(32名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名
4	10月22日(水)~29日(水) 10:00~14:00	栗東中学校(709名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名
5	10月30日(木)~11月5日(水) 10:00~14:00	葉山中学校(444名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名
6	11月6日(木)~12日(水) 10:00~14:00	栗東西中学校(834名)	<input type="checkbox"/> 少年センター1名



○2月「幼稚園等における非行防止教室」(5歳児対象)

- 法律や決まりを守り、家族や周囲の人々の安全や安心を大切にすることを理解させ、幼児一人ひとりの初発型非行防止に関わる規範意識を高める。
 - ・紙芝居教材「これって、いいの？」(啓発プレゼン資料)
- 草津警察署生活安全課員による講話
 - ・不審者の対応について

■実施予定（希望園にて調整中）

No.	日 時	幼稚園・保育園・幼稚園・こども園	従事者
	2月	各園5歳児 希望により保護者参観可	□少年センター1名 □補導委員会3名 □草津警察署1名

② 青少年健全育成のための出前講座の実施

○自治会研修会等に講師として参加し、青少年の被害・非行防止と健全育成等の啓発に努めた。

■栗東市まちづくり出前トーク・じんけんミーティング・研修会等への出講実施状況

No.	実施日	出講先	テーマ	派遣職員
1	10月25日（土）	今土自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
2	10月26日（日）	下鉤甲自治会	みんなの情報モラル	所長 岸田 修
3	11月 8日（土）	下戸山グリーンハイツ自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
4	11月16日（日）	下鉤糠田井自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
5	12月 7日（日）	小柿二区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
6	1月18日（日）	安養寺南区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
7	2月 7日（土）	成谷自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修
8	2月21日（土）	小柿一区自治会	家庭や地域で守る子どもの安全と安心	所長 岸田 修

③ 少年センターについての周知と、「相談活動」の充実

○少年センターパンフレットの配付を行った。

少年センターでの事業をお知らせし、センターの利用促進のためのパンフレットを作成し、様々な研修会や出前トーク等で青少年育成関係者や市民への配付を行った。また、中学校には、2学期始業時に全生徒対象として配付、市内県立学校在校生については、薬物乱用防止啓発時に希望者向けとして配付した。

○青少年の非行等に関わる相談活動の充実に努めた。

少年自身や保護者、教職員、地域の育成関係者からの非行や不良行為等の問題行動、立ち直りに関する相談を受理し、助言および支援とともに、就労や就学支援相談についても努めた。

○市内小中学校の児童生徒に関する相談対応・学校支援を行った。

多様化する児童生徒の課題について、学校としての相談を受理し助言を行い、必要に応じて学校支援に繋いだ。

■実施状況（令和8年1月5日現在）

1) 相談方法

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
面談等【来所（面接）】	131(15)	26(12)	40(10)	16(1)
電話	124(6)	14(8)	11(5)	16(0)
メール	4(0)	0	0	0
訪問	-	28(10)	35(3)	76(19)
計	259(21)	68(30)	86(18)	108(20)

令和7年度より県への報告様式に合わせ、来所（面接）と訪問をまとめた面談等としています。

2) 相談者

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
本人	13(7)	1(0)	1(1)	7(0)
家族	14(0)	4(2)	0(0)	11(0)
学校	217(13)	42(21)	73(15)	75(19)
関係機関等	15(1)	21(7)	12(2)	15(1)
計	259(21)	68(30)	86(18)	108(20)

3) 相談者

学職別

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
無職少年	0(0)	2(1)	1(0)	1(0)
有職少年	1(0)	0(0)	1(0)	0
高校生	3(0)	3(2)	15(6)	5(0)
中学生	31(2)	43(19)	32(6)	30(1)
その他	224(19)	20(8)	37(6)	72(19)
計	259(21)	68(30)	86(18)	108(20)

4) 相談内容

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
盗癖・窃盗	7(0)	6(5)		1(1)
暴力行為	41(0)		2(0)	20(0)
たかり・恐喝				
薬物乱用			3(2)	
飲酒・喫煙	2(0)	2(0)		
深夜徘徊・無断外泊	5(0)		1(0)	
暴走行為	5(0)	5(0)		
不登校	7(4)		1(0)	13(0)
学校学業・怠学	150(16)	38(16)	65(11)	47(2)
就職・就学	1(1)	9(6)	3(0)	
家庭・しつけ	14(0)	3(2)	7(5)	18(13)
性・性格	14(0)			
交友・いじめ	2(0)	5(1)		1(1)
その他	11(0)		4(0)	8(3)
計	259(21)	68(30)	86(18)	108(20)

④ 子どもの健全な発育に害を与える恐れのある環境浄化活動の取組み

コンビニや量販店等を訪問して、健全育成条例に従った展示や販売がしてあるかの確認や指導を行い、有害環境から子どもを守る活動を推進した。

(ア) 有害図書等取扱店・刃物類取扱店への立入調査

- ・立入調査は毎月2回、図書等取扱店（図書・DVD・ゲームソフト・有害玩具等取扱店）及びカラオケ店等に対し県条例遵守事項（図書等取扱店⇒有害指定商品の有無・陳列方法・販売方法・管理状況、ネットカフェ・カラオケ⇒営業時間・入場制限等）が適切に行われているかの調査を実施した。
- ・営業者等に条例に関する知識や遵守事項を指導し、青少年への適切な対応について協力依頼した。
- ・一斉調査期間（10月1日から11月30日までの間）の立入調査は、高等学校、警察等関係機関に協力依頼し、図書等取扱店2回、刃物類取扱店3回を増加して実施した。

■実施状況（図書等取扱店⇒図書・DVD・ゲームソフト・有害玩具等取扱店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導延べ店舗数
図書取扱店	31	110	0
DVD取扱店	3	12	0
ゲームソフト取扱店	3	11	0
有害玩具（エアガン）取扱店	1	4	0

■実施状況（刃物類取扱店⇒一般刃物・有害刃物具取扱店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導店舗数
刃物類取扱店	29	29	0
有害刃物取扱店	1	1	0

■実施状況（ネットカフェ⇒図書貸出・カラオケ店）

立入調査対象店舗	店舗数	実施延べ店舗数	指導店舗数
カラオケ	1	3	0
ネットカフェ	1	3	0

(イ) ゲームセンター巡回

- ・青少年の健全利用が行われるよう、ゲームコーナーを巡回し、店側への啓発および協力依頼した。（店舗数1）

(2) 非行少年対策事業の推進

学校や地域社会における不良行為や非行は、地域住民の安心・安全を揺るがすものであり、その対策は、青少年の健全育成の面からも重要である。個々の少年の状況に応じて課題解決に向けた支援を行い、対象少年の立ち直りに努めた。

① 街頭補導活動の実施

(ア) 通常街頭補導（夕方・夜間）

- ・センター職員、少年補導委員、学校教員等で実施。

■実施状況

No.	実施月日	時間	従事者(人数)		関係機関
			センター	補導委員	
1	4月 7日(月)	15:30~16:30	2	-	
2	4月17日(木)	15:30~16:30	2	-	
3	4月24日(木)	15:30~16:30	2	-	
4	5月 7日(水)	15:30~16:30	2	-	
5	5月16日(金)	15:30~16:30	2	-	
6	5月26日(月)	15:30~16:30	2	-	
7	6月12日(木)	15:30~16:30	1	1	学校関係者(欠席)
8	6月19日(木)	14:30~15:30	1	-	※臨時(不審者)
9	6月19日(木)	19:00~20:00	1	3	
10	6月26日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
11	7月 3日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者(欠席)
12	7月10日(木)	19:00~20:00	1	1	
13	7月17日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
14	8月 5日(火)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
15	8月21日(木)	19:00~20:00	1	1	
16	8月28日(木)	15:30~16:30	1	0	
17	9月11日(木)	15:30~16:30	1	2	
18	9月18日(木)	19:00~20:00	1	2	
19	9月25日(木)	15:30~16:30	1	3	
20	10月 9日(木)	15:30~16:30	1	0	学校関係者1
21	10月16日(木)	19:00~20:00	1	2	
22	10月23日(木)	15:30~16:30	1	1	学校関係者1
23	11月 6日(木)	15:30~16:30	1	0	学校関係者1
24	11月13日(木)	19:00~20:00	1	1	
25	11月20日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
26	12月 2日(火)	15:30~16:30	1	1	
27	12月 8日(月)	15:30~16:30	1	-	※臨時(熊)
28	12月11日(木)	19:00~20:00	1	2	
29	12月18日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
30	1月15日(木)	15:30~16:30	1	3	
31	1月22日(木)	19:00~20:00	1	3	
32	1月29日(木)	15:30~16:30	1	3	
33	2月 3日(火)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
34	2月10日(火)	19:00~20:00	1	3	
35	2月19日(木)	15:30~16:30	1	2	
36	3月 5日(木)	15:30~16:30	1	2	学校関係者1
37	3月12日(木)	19:00~20:00	1	3	
38	3月18日(水)	15:30~16:30	1	3	
合計	38回		44		

(イ) 特別街頭補導

- ・社会を明るくする運動期間等に、少年センター・保護司会・高等学校等の関係機関・団体と合同で、数日間実施している。また、中学校卒業式等の行事にあわせて、特別街頭補導を実施した。

(ウ) 地域補導(学区別街頭補導)

- ・各小学校区単位(9小学校区)で、少年補導委員の幹事が中心に計画し、毎月学区内で実施した。

■実施状況

月	回数	実施学区・人数	従事者 (延人数)
			補導委員
4月	8回	治田④ 大宝・大宝東④ 治田西③ 葉山東③ 葉山③ 金勝③ 治田東④ 大宝西④	28
5月	8回	葉山③ 金勝④ 葉山東① 治田④ 大宝・大宝東④ 治田東⑤ 治田西③ 大宝西④	28
6月	8回	金勝⑤ 治田東⑤ 葉山東④ 葉山③ 治田④ 大宝・大宝東④ 大宝西④ 治田西②	31
7月	7回	葉山③ 治田東⑤ 葉山東② 金勝⑤ 大宝・大宝東⑤ 大宝西③ 治田西③	26
8月	10回	治田③ 葉山②② 金勝⑤ 葉山東③③ 大宝・大宝東⑤ 治田東⑤ 大宝西③ 治田西③	34
9月	8回	金勝③ 葉山③ 大宝・大宝東⑦ 治田④ 治田東⑤ 治田西③ 大宝西② 葉山東④	31
10月	9回	金勝⑤ 葉山東④ 葉山② 大宝・大宝東⑥ 治田④ 大宝西④④ 治田西④ 治田東④	37
11月	8回	大宝西④ 治田③ 大宝・大宝東⑤ 葉山③ 金勝⑤ 葉山東③ 治田西③ 治田東⑤	31
12月	8回	大宝西③ 葉山東③ 葉山③ 大宝・大宝東⑤ 治田③ 金勝⑤ 治田西③ 治田東③	28
1月	回		
2月	回		
3月	回		
合計	74回		274人

(工) あいさつ運動

・各中学校区単位（3中学校区）で、少年補導委員と中学校PTA、教職員等と合同で、毎月実施した。

■実施状況

月	回数	実施学区・人数	従事者 (延人数)
			補導委員
4月	8回	治田東④⑤ 葉山・葉山東④④ 治田①① 金勝④③	26
5月	8回	治田東⑤④ 葉山・葉山東②④ 治田①① 金勝③③	23
6月	14回	大宝・大宝東⑥⑥ 大宝西④③ 治田西②① 治田東④⑤ 葉山・葉山東③③ 治田①① 金勝③③	45
7月	8回	大宝・大宝東④ 大宝西② 治田西② 葉山・葉山東③ 治田東④⑤ 治田①①	22
8月	2回	金勝③③	6
9月	14回	大宝・大宝東⑥④ 大宝西④③ 治田西②① 治田東④⑤ 葉山・葉山東④④ 治田①① 金勝①③	43
10月	14回	大宝・大宝東⑤⑥ 大宝西③③ 治田東⑤④ 治田西②① 治田①① 葉山・葉山東④② 金勝③②	42
11月	12回	大宝・大宝東③⑤ 大宝西③① 治田西② 治田東⑤⑤ 葉山・葉山東③③ 治田① 金勝④③	38
12月	13回	葉山・葉山東④ 大宝・大宝東③⑤ 大宝西④④ 治田西②① 治田東⑤④ 治田①① 金勝③③	40
1月	回		
2月	回		
3月	回		
合計	93回		285人

② 学校からの要請による対象児童生徒への学校支援・通所指導等の実施

○学校からの支援要請・相談に対して、管理職や生徒指導担当等との懇談を行い、学校の方針に則り個別の通所支援を行った。（中学生：生活習慣安定のための通所支援1名、通所支援に向けた相談1名）また、必要な場合は、学校訪問による支援を行った。なお、11月時点で支援ケースのなかった市内小中学校への参観・懇談を行い、少年センターの利用について理解を促した。



③ 無職少年への就学や就労相談の実施

○対象少年（高校中退者・無職少年）の把握と通所支援

市教委学校教育課や小中学校、草津警察署生活安全課、関係機関・団体との連携を図り、非行や不良行為、暴力行為、引きこもり、いじめ等の情報収集と把握に努めている。また、市発達支援課や商工観光労政課、家庭児童相談室等と連携し、対象少年の把握に努めている。

特に、保護者や学校、関係機関からの依頼を受けて、非行や不良行為を犯した少年、非行傾向のある高校中退者等に対し、指導員を中心に解決に向けた支援や指導に取り組んでいる。

(3) 広域犯罪への警戒と防止啓発

ネット上の有害サイトを介した犯罪やいじめ、福祉犯罪、薬物乱用などの全国的な広がりを見せる犯罪行為に対して、関係機関との連携を図り、広報・啓発活動を通じてそれらの抑止に努めた。

① 薬物乱用防止やインターネット上の加害・被害防止に向けた啓発活動の実施

(ア) ネット犯罪被害防止

- ・青少年がインターネット上の有害情報から被害に巻き込まれないよう「少年センターだより」を通して広報啓発した。
- ・出前トークや各種研修会にて、SNSの正しい使い方等について、関係者や市民に啓発を行った。

(イ) 薬物乱用防止啓発活動

- ・夏休み前の「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間（6/20～7/19）と青少年の被害・非行防止滋賀県強調月間（7/1～7/31）に、市内中学校において、生徒会と少年補導委員会啓発部会が合同で啓発物品配付と呼びかけを行い、薬物乱用防止啓発活動を実施した。（令和7年度より3中学校輪番での共同啓発）
- ・薬物乱用防止チラシ入りモバイルクリーナーを配付し、市内小中学校、県立学校で啓発活動を実施した。

■中学校生徒会と少年補導委員との合同啓発活動実施状況

No.	活動日時	実施校	従事者
1	7月 4日（金） 8:00～8:20	葉山中学校（443名）	<input type="checkbox"/> 中学校職員 4名 <input type="checkbox"/> 少年センター 2名 <input type="checkbox"/> 少年補導委員 5名 <input type="checkbox"/> 中学生 10名



(ウ) 街頭啓発活動

例年、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間（6/20～7/19）と青少年の被害・非行防止滋賀県強調月間（7/1～7/31）に少年補導委員・保護司・小中高等学校教員・警察等関係機関・団体と薬物乱用防止及び非行・被害防止に関して街頭啓発活動を行っており、今年度は7月1日に「社会を明るくする運動」とともに市内量販店前において啓発物品の配付と呼びかけを行った。今年度は、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の滋賀県キャンペーン地域に指定されたため、6月21日（土）14:00～アルプラザ栗東にて募金活動および啓発活動に参加した。また、市内中学校3校と県立学校3校において、麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動（10/1～11/30）に展示型啓発活動を実施した。

② 広報啓発（少年センターだよりの発行）

「少年センターだより」を年4回発行し、自治会（回覧）、関係機関等に配付し、少年非行や健全育成に関する情報、少年補導委員会の活動内容などの発信を行い、被害・非行防止の啓発を行った。

■発行状況

発行月（季節号）	発行回数	月発行部数
4月・7月・10月・1月	4回	各 3,000部

（4）関係機関や団体との連携と協働

複雑多様化する青少年問題に対しては、様々な生い立ちや性格をもつ青少年の特性を理解し、きめの細かい対応と配慮を行い、青少年が社会的に自立できるよう支援していくことが必要である。そのため、それぞれの機関の専門性を生かせるよう、各種関係機関や団体との連携強化に努めた。

① 少年補導（委）員会との協働と連携

○第12期少年補導委員の委嘱（令和6年4月1日～令和8年3月31日）

* 39名の委嘱（1名辞退により減員）

○少年補導委員会の活動

■本部役員会及び幹事会・少年補導委員研修会

開催月	会議名	回数
4月	少年補導委員会幹事会 令和6年度会計監査	2
5月	令和7年度栗東市少年補導委員会定例総会 少年補導委員研修会（啓発部会の取組について）	1
6月・8月・10月・12月・2月	少年補導委員会本部会・幹事会	5
11月	少年補導委員管外研修会（舞鶴学園）	1

■研修会への参加

開催日・場所	研修会名	内容
9月27日(土) 高島市観光物産プラザ	滋賀県 青少年補導センター 連絡協議会研修大会	①講演会 「課題を抱えた少年たちのため支援者ができること」 講師：交野女子学院 法務教官 平岡香穂里 氏 ②分科会（話題提供：東近江・米原・栗東・近江八幡竜王）

■非行防止・薬物乱用防止教室の実施 ※前述のとおり

■地域補導（学区別街頭補導）・あいさつ運動の実施 ※前述のとおり

② 学校や関係機関との連携

市教委学校教育課や関係機関が主催する会議、行事等に参加し、情報共有と協力体制の確立に努めている。また、新湖南地区高等学校等生徒指導連絡協議会の構成員として連絡会議に参加し、少年非行防止の連携に努めている。

■ 栗東市生徒指導主事主任会議への出席

開催月	開催主管課	出席者／内容
4月・5月・6月・7月 9月・10月・11月・12月 1月・2月・3月	市教委 学校教育課	学校教育課、市内小中学校、家児相、発達支援課、少年センター、草津警察署 / 各校の現状報告、課題の確認、指示・連絡事項等

■ 新湖南地区（草津・守山・野洲・栗東）高等学校等生徒指導連絡協議会の出席状況

開催月	開催機関	出席者／内容
6月・9月・1月	新湖南地区高等学校等生徒指導連絡協議会	県幼小中教育課、緊急特別指導員、県立学校各学校生徒指導主任、3少年センター / 各校の現状報告と情報交換、研修、連絡事項等

■ 就労支援関係会議出席の状況

開催月	会議名	出席者
8月	草津・栗東地区無職少年対策連絡会議	草津警察署、保護司会草津支部、草津公共職業安定所、草津市・栗東市民児委員会、草津市・栗東市少年補導委員会、草津市・栗東市中等高等学校の各代表者 草津市・栗東市少年センター
第1回：11月 第2回：1月	栗東市就労支援事業推進会議	部落解放同盟、心身障害児（者）連合会、母子福祉のぞみ会、人権擁護課、ひだまりの家、社会福祉課、障がい福祉課、子育て支援課、学校教育課、自治振興課、発達支援課、少年センター

■ 要保護児童対策地域協議会実務者会議の出席状況

開催月	出席者・内容
4月・5月・6月 7月・8月・9月 10月・11月・12月 1月・2月・3月	中央子ども家庭相談センター、草津警察署、社会福祉協議会、県SSW、市SSW、学校教育課、幼児課、社会福祉課、障がい福祉課、発達支援課、健康増進課、少年センター、地域子育て包括支援センター (事務局) こども家庭局 こども家庭センター家庭児童相談室 要保護児童対象者の情報・関係機関情報交換などについて

《関係機関や団体との連携》 取り組みの成果と課題

【成果】

- ・開催される会合には積極的に参加し、関係機関等と連携できるよう、少年センターの活動を伝え、意見交換を交わすことができた。
- ・草津警察署生活安全課や近隣の少年センターとは、情報共有や連携した活動を心がけた。
- ・少年センターだよりには、少年センターの活動や非行防止関係情報を随時更新し、掲載できた。

【課題】

- ・今後も関係機関・団体とは連携をとって協働するとともに、必要な情報収集とそれを活かした活動に努める。
- ・子ども・若者育成推進事業に関わり、教育と福祉が一体となった支援のあり方を整備した中で、非行防止や健全育成の活動を見直したい。

③ 各種研修会等への参加による資質の向上

■ 会議出席の状況

関係機関・団体	会議名・開催日	出席者数
滋賀県青少年補導センター 連絡協議会	①県青少年補導センター連絡協議会総会・研修会（草津市）/4月9日	2
	②無職少年対策指導員研修会（能登川）/6月11日	2
	③県青少年補導センター連絡協議会研修大会（高島市）/9月27日	8
	④湖南ブロック研修会（栗東市）/11月21日	3
	⑤所長会議（5回） （彦根）6月4日/（堅田）8月6日/（東近江）10月1日/（八幡竜王）12月3日/（栗東）2月4日（犬上）	5
栗東市青少年育成市民会議	①青少年育成市民会議総会/5月10日	1
	②青少年育成市民会議幹事会/4月23日、10月24日、12月5日、3月23日	4
	③青少年育成市民会議幹事会啓発部会/-	
	④青少年育成市民会議愛のパトロール研修会/6月7日	1
	⑤中学生広場「私の思い2025」/7月5日	1
	⑥青少年育成大会/1月24日	1
保護司会・更正保護女性会 民生委員児童委員協議会 連合会	①草津保護区保護司会栗東支部総会/5月1日	1
	②草津保護区保護司会と草津市立・栗東市少年センターの懇談会/8月1日	1
社会を明るくする運動推進 委員会	①社会を明るくする運動メッセージ伝達式/7月1日 縮小実施 ②社会を明るくする運動街頭啓発（市内量販店）/7月1日	4
危機管理課防犯自治会	①草津栗東防犯自治会総会/書面開催	0
警 察	①「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会（大津市）/11月15日（補導委員功労者表彰）	2
	②歳末特別警戒警察・消防出動式/12月4日	1
栗東市内関係機関	①公立校園長会/4月3日	1
	②社会教育委員の会/7月24日、1月27日	2
	③青少年問題協議会・少年センター運営会議 ※青少年問題協議会廃止	0
	④就労支援事業推進会議/11月11日、1月29日	2
	⑤要保護児童対策地域協議会代表者会議/8月5日、2月4日	2
滋賀県内関係機関	①「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会/5月14日	1
	②県育成団体交流研修会/5月20日	1
	③立入調査員研修会/5月21日	2
	④「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン/6月21日	1
	⑤非行防止・環境浄化対策連絡会議/6月30日	2
	⑥草津・栗東地区無職少年対策連絡会議/8月5日	2
	⑦南部・甲賀青少年育成連絡協議会/7月17日	1
	⑧県青少年育成県民大会/11月8日	1
	⑨「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会/11月15日	2
	⑩暴力団追放県民大会/11月26日	1
	⑪南部地域安全なまちづくり推進協議会/12月18日	1
	⑫少年センター・あすくる職員等合同研修会/4月15日、2月18日	4

自然観察の森

1 令和7年度 各種イベント実績

令和7年12月末日現在

	イベント 名称	計 画 内 容	対 象	実 施 計 画
		実 績		実 績
自 然 観 察 コ ー ス	自 然 観 察 会	四季折々のみどころをテーマに植生の解説をはじめ、この森に生きる小動物や昆虫の生態などの話題を交え、森のインタプリターや森で活動するボランティアが園内を案内します。	一 般	基本月2回、主に日曜日に実施（年間23回）
		生物の実物を用意し、その季節に応じた今しか観れない植物に触れてもらうなど、当日の参加者の状況に即した内容となるよう臨機応変な対応に努めました。おかげで植物や昆虫の生態について興味を深め、複数回参加される方もおられました。		12月までに18回実施 参加者は122人
	親 子 観 察 会	幼児から小学校の低学年向けに身近な生き物や園内に自生する植物の四季折々の見どころなどを案内し、観察する楽しさを体験していただきます。	親 子	基本月1回（7,10,12,1月は、月2回）日曜日に実施 （年間16回）
参加される子どもの年齢や当日の天候なども考慮し、小さいお子様には興味・関心をもっていただけるよう自然とふれあい、観察する楽しさを体験していただきました。 （県外からのリピーターもあり）		12月までに12回実施 参加者は65人		
ミ ニ 観 察 会	主に初来園の人たちを中心に園内を案内し、解説します。	一 般 親 子	随 時	
	事前に利用者から要望があった場合、職員が対応可能な範囲で園内を案内し、季節の見どころなどを紹介しました。			
ミ ニ ク ラ フ ト	木の実など自然素材を使って、子どもから大人までが楽しめる四季折々のクラフトづくりを実施します。	一 般	1,2,3月を除く毎月1回 (12月は2回)日曜日に実施 (年間10回)	
	家族連れでの参加が中心で、自然素材を活用したクラフトの体験で毎年10月～12月の「Xmasグッズ」、「お正月飾り」「干支づくり」では多くの参加があります。		10回実施済み 参加者は193人	

自然だ いすき コース	月別 イベント (予約制)	自然とふれあい、自然の恵みを活かしてのものづくりの楽しさ等の体験を通じ、森で活動するボランティアとともに親睦や交流を深める機会を提供します。	一 般	年間 4 回 (7・8・10 月・秋まつり) 主に土曜日に実施
		工夫を凝らした自然観察会や竹細工、クリスマスリース等、ものづくりの楽しさを体験し、自然の大切さに触れていただきました。		森の秋まつり以外に 3 回実施 参加者は 2 1 人
JVR 養成講座 (登録制)		自然体験をとおして、自然と人との関わり方について考える環境リーダーを養成します。受講生相互に仲間意識を醸成させるとともに、支援いただくボランティアの協力のもと世代間の交流の場となる機会を提供します。	小学 3 年 生～ 中学 3 年 生	4・5・11・1 月を除く毎月 1 回、土曜日に実施 (年間 8 回)
		J V R 養成講座生 1 3 人が森をフィールドに自然と人との関わり方を学習する中で仲間意識を高め、集団でのルールや役割などを学びました。また、サポーターズが主催するイベント活動を通して世代間交流を深めることができました。		12 月までに 6 回実施
森の秋まつり		自然の恵みに感謝し、森の魅力を P R する恒例イベントとして、関係ボランティア団体との連携協力により開催します。	一 般	10 月 19 日(日)
		ネイチャー・ボランティア・レンジャー「N V R 友の会」の協力を得て、森の P R に努めました。各体験コーナーに加え、今年度は三施設連携のスタンプラリーを実施しました。(景品はオリジナル缶バッジ)		来園者は 1 4 0 人

2 施設等の安全対策など

施設及び園内の安全、利便性を確保するとともに良好な環境整備を実施します。

- (1) 8 月以外も猛暑・酷暑日が増え、観察会イベントや園外保育・校外学習等の野外活動と熱中症警戒アラート発令時、そのリスクを軽減するため、来園者への事前の注意喚起に努めました。
- (2) ネイチャーセンターにおける設備機器の日常点検を実施しました。
- (3) 園内観察路等の巡回による危険箇所の把握と修繕を実施するとともに、注意喚起することで安全確保に努めました。
- (4) 松枯れ被害木や風倒木等の伐倒処理及び松枯れ防除を実施しました。
- (5) ボランティアにも協力を得ながら適切な植生管理と再生保育に努めました。
- (6) 駐車場区画線及びネイチャーセンター屋根(雨漏り)を修繕するなど施設の適切な維持管理に努めました。
- (7) 来園者を気持ち良く迎え、お帰りいただくための施設や散策路の清掃に努めました。

3 園・学校との連携及び諸団体への支援・協力

- (1) 幼児、幼稚、保育・こども園における園外保育や小学校の校外学習、中学校の勤労体験、各種団体の研修に供する利用に際しては、受入態勢を整えて支援と協力を行いました。
- (2) 本市の教育ゾーンにある当園、図書館、歴史民俗博物館が10月にそれぞれ実施するイベント（テーマ「3施設秋めぐり」）のPR活動を連携し行いました。

4 森のPR活動

みどころマップ等の設置・配布	園内の案内を兼ねて毎月「みどころマップ・案内図」や「ネイチャークイズ」等を配置、配布しています。また、施設のリーフレットも配布しています。更に「今が見ごろ」にスポットをあてた植物写真を園内に掲示しています。
りすじろう通信の発行	園、学校の来園に際しては、体験学習の様子を「りすじろう通信」として発行し、そのなかで再来園につなげる呼びかけをしています。
広報りっとう	毎月の広報紙面の「お知らせ版」で森のイベントを紹介しています。
インターネット等	<ul style="list-style-type: none">・市のホームページに、<ol style="list-style-type: none">A)開園カレンダー・イベント案内を掲載しています。イ)四季折々に森でみられる動・植物を、撮影日も入れて写真で紹介しています。ウ)森で実施したイベント活動の状況や参加者の声も「りすじろう通信」が紹介しています。・フェイスブックに、タイムリーな情報を提供しています。・スマートフォン専用アプリQRコードを活用した自然動画を紹介しています。
公共施設等での掲示	JR手原駅の案内所、JR栗東駅自由通路の東西掲示板、各小学校、図書館、歴史民俗博物館、学習支援センター、自然体験学習センター「森の未来館」及び各学区コミセン、道の駅などに毎月のポスター・チラシを掲示(配付)しています。
県や情報機関	イベント情報の資料を提供しています。
展示の充実	館内展示エリアに毎月のクラフトの試作品や森で活動する児童や大人の作品の展示による啓発に努めています。また、森に関心を持ってもらうために、生きものの痕跡を掲示しています。

5 再来園者を促す取組み

- (1) ネイチャーポイントカードを発行し、以後来園毎にポイントを付与、上限ポイントに達した時点で手作り記念品を贈呈しています。
- (2) 毎月1回を基本に小学校低学年向けに、「ネイチャークイズ」を作成し随時解説するとともに、小学校の校外学習でも活用しています。
- (3) 園・学校等からの来園者に家族で再来園いただけるよう、「りすじろう通信」等で案内・発信しています。

令和7年度 イベント実施実績

令和8年1月10日現在 (単位：人)

月	自然観察コース (予約不要)		自然だいきコース	年間登録制講座	予約不要	計
	自然観察会 年間23回	親子観察会 年間16回	月別イベント 年間4回	JVR養成講座 (受講生のみ) 年間8回	ミクラフ 年間10回	
令和7年	春の森				森のフォトフレーム	23
4	6	11			6	
5	新緑の森				可愛いマリオネット	42
	14	10			18	
6	梅雨の森			開講式	梅雨のカタツムリ	57
	20	5		12	20	
7	夏の森		七夕飾りをつくろう	遊び道具を作ろう	マイ楽器作りに挑戦	39
	9	2	11	10	7	
8	盛夏の森		竹トンボを使って遊ぼう	トートバッグを草木で染める	竹筒で水鉄砲をつくろう	38
	9	13	5	9	2	
9	初秋の森			班別対抗戦	森のフクロウくん	52
	22	4		7	19	
10	秋の森		中秋の名月祭り ※森の秋まつり ※秋まつりと同時開催	樹名板を完成させよう	メモスタンド・松ぼっくりのツリー	237
	27	13	145	8	44	
11	紅葉の森				森のXmasケーキ	35
	13	5			17	
12	冬の森			森でアート	Xmasグッズ(三角ツリー) 千支の正月飾り	73
	2	2		9	60	
令和8年	真冬の森					0
1						
2	目覚めの森			きのこの植菌		0
3	早春の森			閉講式・記念植樹		0
合計	122 (18回実施)	65 (12回実施)	(4回実施)	(6回実施)	(10回実施)	(50回実施)
	187		161	55	193	596

参考：令和6年度12月末の人数 191 220 78 300 789

人権教育・啓発係

1. じんけんミーティング

(内 容)

- 幅広い人権問題への関心を高めるため、自治会ごとに人権尊重の学習活動を推進
 - ・社会人権教育推進員説明会の実施（10回）
 - ・市内126自治会でのじんけんミーティングの実施
（実施方法）「①講演会参加型」「②資料回覧型」「③従来の懇談会型」の3コースより選択
選択コースの状況（予定含む）※12月末現在
 - ① 1自治会、②64自治会、③18自治会、コース未定43自治会

(成果・課題)

- 今年度より自治会が主体的に実施するよう、実施方法等を見直した。3コースを設定し、自治会の実情に合わせて取り組みやすい方法を選択できるが、資料回覧型が多く、人権についての学びの深まり等は把握が難しい。互いの人権が尊重されたまちの実現をめざし、自治会で自主的に学びを進めてもらえるように今後も支援していく。

2. 人権啓発リーダー講座

(内 容)

- 地域や学校園で主体的に人権啓発を行うリーダーの育成（8回）
 - ・はじめの一步コース（4回） 115名
 - 7月 3日 人権教育に向き合う一步を踏み出そう 26名
 - 7月 8日 人権教育に向き合う一步を踏み出そう 48名
 - 7月11日 最新のDVD視聴を通して 11名
 - 7月28日 輝く未来（教材編）を活用した研修会の実施に向けて 30名
 - ・明日へ一步コース（4回） 223名
 - 8月 5日 部落差別解決に向けて私たちに求められていることとは 68名
 - 8月 6日 ハンセン病の正しい理解と差別解消に向けて 41名
 - 8月 7日 パパは女子高生だった～自分らしく生きること～ 64名
 - 8月19日 インターネットと人権～差別の起こりとメカニズム～ 50名

(成果・課題)

- 人事課の指定研修として選択実施したことにより、市役所職員の参加が少し増加した。
- あらゆる人権課題について学ぶ場を設定するために、様々なテーマを選定していく必要がある。
- 人権啓発リーダー講座を社会人権教育推進員へ案内したところ、自治会で回覧して周知するところも見られた。もっとたくさんの市民に参加していただけるように、案内方法を検討する必要がある。

3. 栗東市人権尊重推進協議会

(内 容)

○差別のない、心の通いあった、住みよいまちづくりの実現にむけた活動

・広 報 部 会 … 人権意識の高揚と定着に関わる広報活動の推進

※第1回：6月16日、第2回：7月11日、第3回：12月12日、
第4回：1月28日（予定）

広報紙「みんなの人推協」の発行（9月・3月）

・啓 発 部 会 … 人権啓発作品募集・審査や市民への人権啓発活動の推進

※第1回：7月16日、第2回：10月10日、第3回：1月7日

人権啓発作品募集（11～12月）、審査（1月）、作品集の作成（3月）
大宝西ふれあい解放文化祭（10月18日、19日）、じんけん広場ふれあい
文化祭（11月8日）での啓発活動

・研 修 部 会 … 「人権を考える市民のつどい」の企画運営

※第1回：8月28日、第2回：2月開催予定

「人権を考える市民のつどい」（2月21日）

・市 民 活 動 部 会 … 栗東市人権教育地域ネット事業へ参画し、学校・園・家庭・地域の連携の推進

※第1回：9月8日、第2回：2～3月開催予定

(成果・課題)

○広報紙「みんなの人推協 No.77」のクイズコーナーには24件の応募があり、回答いただいた方からは、紙面についての意見や感想も寄せていただいた。「みんなの人推協 No.78」の紙面構成の検討では、読者の意見等も参考に、部会員が積極的に意見を出し合うことができた。

○文化祭での啓発については、部会で内容を検討し、スタンプラリーと絵本の読み語りの啓発活動を行い、地域とのふれあいを深めることができた。

○今後も地域における人権啓発の中心的な存在として活動を続けていけるように、推進体制等を検討していく必要がある。

4. 栗東市人権教育地域ネット協議会および学区運営委員会

(内 容)

○人権が尊重された学校・園・地域の実現を目指し、それぞれが連携した人権教育の推進

・人権教育地域ネット協議会（中ネット）

・合同研修会

栗東中学校区 1回（動画配信） 講師：齊藤 智孝さん

葉山中学校区 1回（11月7日） 講師：田邊 九二彦さん、藤森 泰志さん

栗東西中学校区 1回（11月11日） 講師：北出 新司さん

・学区運営委員会事業（小ネット） 6月～12月 小学校区ごとに人権研修会を実施

(成果・課題)

○中学校区及び小学校区において、学区ごとにテーマを設定しながら取組を進めることができた。学校、園、家庭、地域、行政の連携のもと、啓発を進めることができ、地域に位置づいた事業となっている。

○R8年度より、学区運営委員会（小ネット）を中学校区別人権教育地域ネット協議会（中ネット）へ集約する。今まで小学校区の研修会と中学校区の研修会に参加者が分散していたが、中学校区1つに集約し、多くの方に参加していただけるよう、周知していきたい。

5. 栗東市人権教育研究大会

(内 容)

- 栗東市民および栗東市に勤務する者の人権意識の高揚と、各校園所における取り組みについての交流の推進
 - ・市人教運営委員会 5月16日(金)・6月6日(金)・6月13日(金)
8月2日の大会開催に向けて運営委員会、拡大運営委員会を実施した。
 - ・レポート研修会 5月27日(火)
実践レポートの充実を図るため、滋人教事務局より講師を招聘し、事実と実践に基づいたレポートの作成について、昨年度のレポートの実践報告を通じて、学ぶ場となった。
 - ・市人教大会分科会担当者事前打ち合わせ会 7月24日(木)
報告者・討議協力者・司会者の三者において、分科会での討議の柱や分科会の進め方について協議した。
 - ・栗東市人権教育研究大会 日時 8月2日(土) 8:15~12:15
市内3小中学校(葉山中学校、金勝小学校、治田西小学校)において分散して開催
全体会「社会的養護と里親制度について」講師 猪飼久雄さん 大槻 美保子さん
(社会福祉法人小鳩会 里親支援センターしが)
分科会 18分科会 (園3 小・中12 高1 行政1 企業1)
参加者 483名(前年比19名増)
教職員 442名 保護者7名 地域・団体など3名 事業所9名 行政22名

(成果・課題)

- 全体会では、「社会的養護と里親制度について」と題して講演をいただき、里親制度について具体的な内容について、学校との連携、配慮すべきことなどについて、講演いただいた。分科会では各団体からの報告をもとに、自分自身の取組を振り返り、明日からの実践に生かす視点で討議することができた。
- 今年度より午前中開催としたことにより、猛暑の影響が少なく、準備・運営側の負担を少なくすることができた。
- 参加者は昨年度よりも増加しており、今後も教職員をはじめ、保護者・事業所・地域へ参加を促していきたい。

6. 小柿地域教育推進事業

(内 容)

- 地域住民との親睦を図り、交流を深める事業(じんけん広場ふれあい文化祭)と差別事象の根絶を目指した研修の推進
 - ・じんけん広場ふれあい文化祭(11月8日)※1日開催に変更 参加者 約650名
プログラム：開会行事、各団体から発表、模擬店、くりちゃんと一緒に風船のにじを作ろう
人権啓発作品の展示等
 - ・合同研修会(2月7日)実施予定
講師：林家 染太さん

(成果・課題)

- 今年度、地域からの役員の見直しにより、文化祭の実施方法を検討し、1日開催へと変更した。
- 各団体からの発表及び啓発展示により、約650名と多くの参加者が人権について学ぶことができる文化祭となった。
- 模擬店に長い行列ができ、待ち時間が発生していた。運営方法を見直し、改善していきたい。

文化財保護係

◎ **文化財保護事業**

◆ 文化財審議会

- 第1回 11月27日(木)
- 第2回 3月に開催予定

◆ 文化財保護啓発事業

- 国指定名勝大角氏庭園(市所有地)修景整備事業
- 第72回文化財防火デーに伴う消防訓練 1月25日(日) 敬恩寺周辺
- 第72回文化財防火デーに伴う防火査察 1月21～23日 大野神社ほか12件(予定)

◆ 文化財補助事業

- 国・県・市指定文化財管理事業
防災設備保守点検・庭園荒廃防止・史跡除草等 金勝寺ほか17件
- 県選択無形民俗文化財団体体育成事業 小杖祭り保存会ほか1件

◇成果 文化財所有者・管理者と連携しながら文化財の保存・管理をすすめることができた。

◇課題 今後も多発・激甚化傾向にある自然災害による文化財への影響への対応が必要。

◆ 史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園保存活用計画策定事業

(内容)・史跡旧和中散本舗・名勝大角氏庭園保存活用計画策定、委員会の開催

- 第5回策定委員会 11月13日(木)
- 第6回策定委員会 2月頃(予定)

◆ 文化財活用事業

- 栗東の文化財を活用しようⅦ 講演会
連続講座栗太郡衙岡遺跡 講座『古代栗太郡の生産遺跡と郡衙』3月7日(土)(予定)
ウォーキング「東海道～手原から梅木立場へ～」 3月28日(土)(予定)
- 地山古墳草刈りプロジェクト 2月22日(日)(予定)(共催:岡自治会)

◎ **埋蔵文化財調査事業**

◆ 文化財調査事業(12月末現在)

- 埋蔵文化財試掘調査 35件 埋蔵文化財発掘調査 9件

◇成果 各種開発等にとまない発掘調査等を実施することにより、埋蔵文化財の保存・保護を図ることができた。

◇課題 栗東市においては、今後も各種開発が進むと予測されることから、調査体制の整備等、それに対する対応が必要。

◆ 保存目的調査

- 阿弥陀寺宮城家墓所(豊臣秀吉家臣宮城豊盛墓を中心とした調査、委員会開催)
- 岡遺跡(昭和61年度に発見された岡遺跡発掘調査の再整理、委員会開催)

◎ **出土文化財センター管理運営事業**

◆ 普及啓発事業

- 教室・講座事業

子ども考古学体験クラブ ～勾玉づくりと火起こし～(同時開催:昭和100年関連企画「大宝村ふるさと絵図

(レプリカ)]公開と昭和の遊びコーナー

8月22日(金)～24日(日) (参加者 110人)

出土文化財センター春の公開 2025 ミニ展示「古代近江の要」

5月17日(土)～25日(日) (入館者 112人)

出土文化財センター秋の公開 2025 10月31日(金)～11月3日(祝) (参加者 55人)

教室事業 (治田西小、葉山小) 2校 (出前)

◆ 調査整理事業

○出土資料整理調査 (国庫補助金関係発掘調査資料の整理)

※当施設では、(公財) 栗東市スポーツ協会との共催又は支援を受けて事業を展開している。

◇成果 出土文化財を適正に保存・管理することができた。

◇課題 今後も、関係機関との連携をより一層深め、さまざまな機会を捉えて普及啓発をすすめていく必要がある。

スポーツ・文化振興係

◎ 文化振興事業

◆ 文化祭事業

○美術展 6月20～22日 (来場者 266人) ○囲碁将棋大会 10月5日 (来場者 31人)

○呈茶席 11月8～9日 (来場者 261人) ○芸能まつり 11月9日 (来場者 392人)

○いけばな 文芸作品展 11月8～9日 (来場者 389人)

会場 栗東芸術文化会館さくら (栗東市文化協会に委託)

◆ 美術展事業

○第49回栗東市美術展 10月22日～10月26日

総出品数 5部門 158点、(来場者 857人)

会場 栗東芸術文化会館さくら (栗東市美術展実行委員会に委託)

◆ 文化協会補助事業

○文化団体への交付金交付

文芸部門、囲碁将棋部門、美術部門、謡曲部門、舞踊部門、民謡部門、吟道部門、郷土芸能部門、
花道部門、茶道部門、雅楽部門、洋楽部門、芸能部門

(13部門、33団体)

◇成果 会員・関連団体と連携を図り、活動を通じて市民の文化に対する意識の向上に貢献し文化活動の振興を図ることができた。

◇課題 関連団体・機関の構成員の高齢化と会員確保。

◎ 音楽振興会活動・研修補助事業

◆ 音楽祭開催事業

○第51回栗東市音楽祭「音楽の森コンサート」10月19日(日)

会場 栗東芸術文化会館さくら大ホール (栗東音楽振興会に委託) (来場者 568人)

◆ 音楽振興会活動・研修補助事業

○RISS ロビーコンサート 51 ～こころ満たされる癒しのメロディー～

会場 なごやかセンター 6月28日(土) (来場者 185人)

ORISS ロビーコンサート 52 ～子どもオトナも楽しいジャズコンサート！～

会場 なごやかセンター 2月8日(日) (予定)

○大西宇宙バリトンリサイタル

会場 栗東芸術文化会館さくら小ホール 7月27日(日) (来場者 139人)

ORISS ミュージックフェア Vol.4

会場 栗東芸術文化会館さくら小ホール 3月8日(日) (予定)

○巡回コンサート(年間を通じて)

○広報「RISS」発行(年度末に予定)

○トーンチャイム・ミュージックベル研究会(年間を通じて)

○オカリナ研究会(年間を通じて)

◆ 少年少女合唱団活動補助事業

○第70回滋賀県合唱祭 会場 栗東芸術文化会館さくら 6月15日(日)

○国スポ障スポ合唱隊練習 会場 栗東芸術文化会館さくら 8月7日(木)

ひこね市文化プラザ 8月19日(火)

HATO スタジアム 8月24日(日)

○令和7年度平和祈念栗東市戦没者追悼式 会場 なごやかセンター 9月6日(土)

○国スポ開会式 会場 HATO スタジアム 9月28日(日)

○滋賀県少年少女合唱連盟中学生以上研修会 会場 東近江市 10月12日(日)

○国スポ閉会式 会場 HATO スタジアム 10月8日(水)

○障スポ開会式 会場 HATO スタジアム 10月25日(土)

○障スポ閉会式 会場 HATO スタジアム 10月27日(月)

○大宝東ふれあいフェスタ 会場 栗東駅前 11月16日(日)

○第34回滋賀県少年少女合唱祭 会場 八日市文化芸術会館 11月23日(日)

○人権ふれあいのつどい 会場 栗東芸術文化会館さくら 1月17日(土) (予定)

◇成果 合唱活動を通じて栗東市の児童生徒の健全育成に努め、関連団体・機関と連携し、音楽振興を図ることができた。

◇課題 より一層の市民の参加を図るため、広報活動の充実が必要。

◎ 芸術文化会館施設管理運営事業

◆ 芸術文化会館管理運営事業

○栗東芸術文化会館「さくら」を㈱ケイミックスパブリックビジネスが指定管理者として管理運営。令和3年4月1日～令和8年3月31日

○施設・設備の維持補修工事

・大ホール舞台機構改修工事他

○指定管理者の募集を行った結果、次期指定管理者が㈱ケイミックスパブリックビジネスに決定した。

◇成果 指定管理者のもと、施設の管理運営と施設を利用した活動を適正に実施できた。

◇課題 施設・設備の老朽化にともなう計画的な修繕・更新の実施。

◎ スポーツ振興事業

◆ ロード競技三大会事業

- くりちゃんファミリーマラソン 2025 11月23日(日・祝) (参加者 386人)
- 第69回耐寒アベック登山大会 1月18日(日) (参加予定者 305人)
- 第52回びわこ栗東駅伝〜クロカン in 野洲川〜 2月15日(日) (予定)
(栗東市ロード競技三大会実行委員会に委託)

◆ 市民スポーツ大会開催事業

- 市民テニス大会他全20競技(種目)の大会を開催
((公財) 栗東市スポーツ協会に委託)

◆ 学校体育施設開放事業

- 市民が身近な場所で気軽にスポーツができる場として、市内小・中学校の体育館、グラウンド、柔剣道場などを開放。少年団体等89団体が登録。
- ◇成果 関連団体・機関と連携しながら生涯スポーツの振興を図ることができた。
- ◇課題 さらなる市民の参加を図るため広報活動の充実や、誰もが安心安全に利用ができるようスポーツ施設の改修・整備が必要。

◎ 生涯スポーツ振興事業

◆ 生涯スポーツ振興事業

- 地域への生涯スポーツの普及推進および指導・育成に関する事業の実施
 - ・実技研修(ボッチャ、ゴールボール、スポーツチャンバラ等)
 - ・みんなのスポーツ講習会(全9学区で開催)
 - ・栗東市スポーツ推進委員だより「あぶろうち」第64号発行
(栗東市スポーツ推進委員協議会に委託)
- ◇成果 年齢や体力に関係なく誰もが楽しめるニュースポーツを普及した。
- ◇課題 より一層の市民の参加を図るため、地振協等との連携と広報活動の充実。

◎ 社会体育施設管理事業

◆ 社会体育施設管理運営事業

- 栗東市社会体育施設等について、公益財団法人栗東市スポーツ協会が指定管理者として管理運営。令和3年4月1日～令和8年3月31日
- 各施設・設備の維持補修工事
- 指定管理者の募集を行った結果、次期指定管理者が(公財)栗東市スポーツ協会に決定した。

◆ 社会体育施設整備事業

- 栗東市民体育館エントランス他改修工事の実施
- 野洲川体育館、十里体育館、治田西SCに冷風機を導入。
- ◇成果 指定管理者のもと、施設の管理運営と施設を利用した活動を適正に実施できた。
- ◇課題 施設・設備の老朽化に伴う計画的な修繕・更新の実施。

1. 展覧会開催事業（通史展示の充実、特集展示等の開催）

（内容）

通史展示「栗東の歴史と民俗」では、考古学、美術工芸、歴史、民俗といった各分野を通じて、栗東の歴史や文化を幅広く紹介しました。また、テーマを絞った特集展示やロビー展示を開催し、栗東の歴史や文化により深く迫るとともに、各展示に関連する講座や解説会を企画することで、来館者が展示内容をより深く理解する機会を提供しました。さらに、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、治田地区から上鉤地域を取り上げる予定です。

【展覧会】

〔通史展示〕（第1展示室）

- 通史展示「栗東の歴史と民俗」

会期：通年

来館者数：5,367人 （12月末現在）

〔特集展示等〕（第2展示室）

- 小地域展「目川の歴史と文化」

会期：3月8日（土）～5月11日（日）

来館者数：914人

（令和6年度中：314人、令和7年度中：600人）

- 収蔵品展「神さまの美術」

会期：5月24日（土）～7月6日（日）

来館者数：1,258人

- 特集展示「終戦80年 平和のいしずえ 2025—戦争と地域のくらし—」

会期：令和7年7月19日（土）～8月31日（日）

来館者数：1,249人

- 収蔵品展「山と川と暮らし」

会期：令和7年9月13日（土）～11月30日（日）

来館者数：2,095人

〔ロビー展示〕

- ロビー展示「EXPO2025 大阪・関西万博記念展」

会期：5月24日（土）～7月6日（日）

来館者数：1,258人

- ロビー展示「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 記念展」

会期：9月13日（土）～11月30日（日）

来館者数：2,095人

〔ミニ展示等〕（第1展示室：通史展示「栗東の歴史と民俗」内）

- 栗東市内発掘調査成果展「レトロ・レトロ展覧会」

（共催：公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

会期：3月8日（土）～5月11日（日）

来館者数：914人

（令和6年度中 314人、令和7年度中 600人）

- ミニ展示「ミュージアム動物苑」

会期：10月1日（水）～11月3日（月・祝）

来館者数：572人

- ミニ展示「名所をめぐる—浮世絵の中の街道と旅—」

会期：12月13日（土）～令和8年2月23日（月・祝）

来館者数：165人 （12月末現在）

※以降の予定

- 栗東歴史民俗博物館開館 35 周年記念「栗東の仏教美術―旧山口寺と金勝谷の宗教文化―」
会期：1月10日（土）～2月23日（月・祝）
- 小地域展「上鉤の歴史と文化」
会期：3月7日（土）～会期末未定

【展覧会関連事業】

- 小地域展「目川の歴史と文化」展示解説会
日程：第1回 4月19日（土） 参加者数： 6人
第2回 5月10日（土） 参加者数： 6人
- 栗東市内発掘調査成果展「レトロ・レトロの展覧会」 ※終了後、展示解説会も開催
展覧会関連講座「古墳時代近江の先進地域―出庭遺跡の鍛冶遺構から見えるもの―」
日程：4月12日（土） 参加者数： 34人
講師：重田 勉 氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会 主幹）
市内発掘調査速報講座
日程：4月27日（日） 参加者数： 48人
①「六地蔵遺跡の調査成果報告―古墳時代にも集落があった―」
講師：森田 真由香 氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会 技師）
②「林遺跡・岩畑遺跡の調査成果報告―中世館跡の実体にせまる―」
講師：高島 悠希 氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会 技師）
- 収蔵品展「神さまの美術」展示解説会
日程：第1回 6月7日（土） 参加者数： 15人
第2回 6月28日（土） 参加者数： 15人
- 特集展示「終戦 80 年 平和のいしずえ 2025―戦争と地域のくらし―」
記念講演会「滋賀県の空襲と栗東地域」 参加者数： 25人
日程：8月9日（土）
講師：村田 明 氏（滋賀県平和祈念館 主任主事）
展示解説会
日程：8月23日（土） 参加者数： 7人
- 収蔵品展「山と川と暮らし」展示解説会
日程：第1回 9月23日（火・祝） 参加者数： 0人
第2回 10月13日（月・祝） 参加者数： 6人
第3回 11月24日（月・休） 参加者数： 5人

※以降の予定

- 栗東歴史民俗博物館開館 35 周年記念「栗東の仏教美術―旧山口寺と金勝谷の宗教文化―」
展示解説会
日程：第1回 1月12日（月・祝）
第2回 2月11日（水・祝）

記念講演会「みんなで守る文化財―地域の核としての博物館―」

日程：2月14日（土）

講師：大河内 智之 氏（奈良大学文学部教授）

○小地域展「上鉤の歴史と文化」

展示解説会（日程未定）

（成果）

収蔵資料や地域に残る文化財について調査、研究、整理を行い、通史展示や特集展示等の展覧会を通じて博物館事業に活用しました。これにより、栗東の豊かな歴史と文化を多くの方々に知っていただく機会を提供することができました。

（課題）

歴史民俗博物館における文化財の保存、公開、活用を進めるには、収蔵資料だけでなく、地域に残された文化財の調査や研究を進めることが不可欠です。そのため、文化財を正しく取り扱うための専門的な知識と技能を備えた人材を確保する必要があります。長期的な視点を持ちつつ、計画的な学芸員の採用を進めるため、引き続き人事課に働きかけを行います。

2. 市民参画推進事業（市民学芸員支援事業等）

（内容）

歴史民俗博物館への市民参画を推進する取り組みとして、以下の活動を展開しました。

まず、市民学芸員の会の活動を支援し、歴史民俗博物館を支えるパートナーとして協力関係を築きました。さらに、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークルが主催する事業に出前講座を実施することで、栗東の歴史や文化の普及啓発を図るとともに、歴史民俗博物館の活動をより広く発信しました。

これらの取り組みを通じて、重点目標である「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館」の実現を目指しています。

【市民学芸員支援事業】

会員数：18人

- 『東海道名所図会』輪読会の開催（月1回）
- 輪読会予習の会（月1回）
- 市民学芸員による博物館講座「かまどめしを炊こう!!」補助（年5回）

【文化財関連事業への講師派遣等】

- すこやか・くりちゃんクラブ 栗東市老人クラブ連合会 高齢者研修会

日程：5月24日（土）

会場：なごやかセンター

内容：栗東の歴史と文化～わが町の古き歴史をあらためて見直す機会に～

参加者数：50人（概数）

○**コミュニティセンター金勝**自主企画 金勝の歴史講座

日程：6月19日（木）

会場：コミュニティセンター金勝

内容：民話から伝わる金勝

参加者数：25人（概数）

○栗東市まちづくり出前トーク（メニュー名：No.66「栗東の歴史と文化」）

申込団体名：**目川萬寿会**

日程：6月12日（木）

会場：目川自治会せせらぎ会館

内容：小地域展「目川の歴史と文化」の概要について

参加者数：25人

○**生涯学習課**「平和学習」

日程：①8月2日（土）、②9日（土）

会場：栗東歴史民俗博物館

内容：①戦争と平和（8/2）、②戦争とくらし（8/9）

参加者数：①6人、②9人

○栗東市立**大宝東小学校**6年生総合的な学習の時間「平和学習」

日程：10月31日（金）

会場：栗東市立大宝東小学校

内容：戦争とくらし～栗東の子どもたち～

参加者数：52人

○**コミュニティセンター金勝**自主企画 金勝の歴史講座

日程：11月13日（木）

会場：コミュニティセンター金勝

内容：明治時代を中心に近代金勝を学ぶ

参加者数：30人（概数）

○栗東市観光まちづくり研修

主管：栗東市総務部**人事課**

日程：11月20日（木）

会場：栗東歴史民俗博物館

内容：栗東市の観光等について学ぶ市役所職員への研修

参加者数：30人

○シンポジウム「水と山に寄り添う暮らし～琵琶湖の源流、走井の歩みとこれから～」

主催：**一般社団法人栗東市観光協会、NPO法人くらすむ滋賀**

日程：12月14日（日）

会場：栗東歴史民俗博物館

内容：走井集落の水と山に寄り添った暮らしを、多様な観点から見つめなおし、持続可能な地域づくりを考える

参加者数：60人

○コミュニティセンター治田自主企画 大人食堂

日程：12月16日（火）
会場：コミュニティセンター治田
内容：治田の歴史&目川田楽
参加者数：13人

○コミュニティセンター大宝自主企画 大宝はつらつ

日程：12月19日（金）
会場：コミュニティセンター大宝
内容：大宝地区の歴史 総集編
参加者数：25人

※以降の予定

○長寿福祉課「第9期100歳大学」

日程：1月14日（水）
会場：栗東歴史民俗博物館
内容：①栗東の歴史について ②常設展示及び特別展示の解説

（成果）

市民学芸員の会では、輪読会への会員以外の参加者を募ることで、会員数の増加に努めています。また、輪読会に先立つ予習会も実施されており、自主学習の場を充実させる取り組みが行われています。歴史民俗博物館は、これらの活動を継続的に支援することができました。

加えて、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への出前講座を通じて、歴史民俗博物館の取り組みを広く発信できました。

（課題）

市民学芸員の会では、会員数の拡充や活動内容の充実に向けた取り組みを続けており、引き続きその活動を支援します。さらに、歴史民俗博物館への市民参画の窓口を増やすためには、様々な団体との連携を強化することが求められることから、出前講座等の機会を活用し、引き続き歴史民俗博物館の取り組みを発信します。

3. 博学連携事業（博物館教室「昔の暮らし」の開催等）

（内容）

小学校3年生の社会科単元「市の様子の移り変わり」に対応した体験学習プログラムとして、登録有形文化財である移築民家「旧中島家住宅」を活用した博物館教室「昔の暮らし」を実施し、実際の資料に触れながら、教室内では難しい体験型の学びの場を提供しました。対象は市立小学校9校に加え、近隣の小学校も含めて実施しました。

また、市立中学校のチャレンジウィーク事業（勤労体験学習）の受け入れを行いました。さらに、県内及び近郊の大学に在籍する学生を対象に、学芸員資格取得を目的とした博物館実習生も受け入れました。

【博物館教室「昔の暮らし」】

受入校数：8校 受入予定校数：11校

日 程	学 校 名	児童数	備 考
6月10日(火)	草津市立南笠東小学校	39人	
9月25日(木)	竜王町立竜王小学校	59人	
11月14日(金)	栗東市立葉山小学校	51人	
11月18日(火)	栗東市立金勝小学校	44人	
11月20日(木)	大津市立中央小学校	61人	
11月21日(金)	愛荘町立愛知川小学校	63人	
11月27日(木)	栗東市立大宝東小学校	64人	
11月28日(金)	栗東市立治田小学校①②	133人	午前・午後に分けて受講
1月8日(木)	滋賀県立聾話学校	2人	【予定】
1月15日(木)	湖南市立三雲東小学校	45人	【予定】
1月15日(木)	栗東市立治田西小学校	76人	【予定】
1月16日(金)	栗東市立大宝西小学校	63人	【予定】
1月16日(金)	草津市立矢倉小学校	71人	【予定】
1月20日(火)	栗東市立大宝小学校	92人	【予定】
1月21日(水)	野洲市立篠原小学校	24人	【予定】
1月21日(水)	栗東市立治田東小学校	55人	【予定】
1月22日(木)	湖南市立菩提寺小学校	71人	【予定】
2月13日(金)	野洲市立祇王小学校①	35人	【予定】
2月18日(水)	栗東市立葉山東小学校	92人	【予定】
2月20日(金)	野洲市立祇王小学校②	35人	【予定】

*太字は栗東市立9小学校
(12月末現在)

【チャレンジウィーク事業（職場勤労体験学習）等】

○栗東市立栗東西中学校

期間：5月28日(水)～30日(金)

受入生徒数：2人

○栗東市立葉山中学校

期間：10月22日(水)～24日(金)

受入生徒数：2人

○栗東市立栗東中学校

期間：10月28日(火)～30日(木)

受入生徒数：2人

※以降の予定

○滋賀県立守山中学校

期間：1月23日(金)

受入生徒数：4人

【博物館実習生等】

- 館園実習 6 大学 8 人
期間：8 月 26 日（火）～8 月 31 日（日）
大学名及び人数：京都橘大学 2 人、同志社大学 1 人、大阪公立大学 1 人、
佛敎大学 1 人、滋賀県立大学 2 人、京都美術工芸大学 1 人
- （見学来館）佛敎大学通信教育学芸員課程
日程：7 月 30 日（水） 学生：49 人、教員 1 人
- （見学来館）愛知淑徳大学
日程：9 月 17 日（水） 学生：40 人、教員 2 人

（成果）

博物館教室「昔のくらし」の開催により、児童の学びの充実に貢献しました。令和 7 年度も昨年度に引き続き、市立校全 9 校が受講予定です。

チャレンジウィーク事業（勤労体験学習）及び博物館実習生の受け入れも滞りなく実施できました。

（課題）

児童にとって貴重な学びの機会となる博物館教室「昔のくらし」は、受講した小学校から良い反応をいただいています。今後は寄せられた個別の意見を参考にしながら、より良い方法を模索し、工夫していきます。

また、チャレンジウィーク事業（勤労体験学習）や博物館実習生の受け入れについても、引き続き継続して実施します。その上で、より充実した体験の提供や実践的な実習課題の設定を行い、参加者の歴史民俗博物館の業務への関心や興味を引き出すとともに、後進の育成に力を入れる必要があります。

4. 博物館施設の適正管理

（内容）

収蔵資料を適切な環境で保管し、施設利用者の利便性を確保するため、施設の維持管理や空調機器をはじめとする各種設備の保守点検を行っています。また、老朽化が進んだ施設や設備については、突発的な不具合に対応し、必要な修繕を実施しました。

- チラー圧力計・安全弁取替工事
- A C - 4 系統エアハンドリングユニット分解整備工事
- ハロンボンベ入替工事
- 展示ケースガラスエッジシール交換工事
- 防水補修工事
- 空調機制御機器更新工事
- 屋外機械室 チラー（C R - 2）ガス漏れ修繕工事

※施工中

- 消防設備改修工事

(成果)

施設・設備の老朽化が進む中、既存の機器の効率的な運用を図るとともに、不具合の生じた機器の取替・修繕・更新等を実施しました。特に、法的に必要であるハロンボンベ入替工事を施工するとともに、予防保全の観点から空調機制御機器更新工事を実施しました。

(課題)

博物館事業の基盤となる収蔵資料の劣化を防ぎ、長期的に良好な状態を維持するためには、温湿度管理を含めた適切な保存環境の確保に万全を期すことが不可欠です。施設の適正な長寿命化を実現するため、空調設備を中心に老朽化の進んだ設備や機器の大規模改修を早期に具体化し、優先順位をつけて計画するとともに、財政課と情報を共有しながら遅滞なく実施できるよう努めます。

5. 他の関連施設との連携事業の実施

(内容)

文化ゾーンに位置する自然観察の森、図書館、歴史民俗博物館が連携して実施する「3施設秋めぐり」について、事業を継続し、各施設の利用促進を図りました。

【全体の取組】

- 3施設スタンプラリーオリジナル缶バッジ配布

期間：10月19日（日）～11月3日（月・祝）

期間中の配布数：84個/自然観察の森での配布枚数：143枚

【歴史民俗博物館の取組】

- ミニ展示「ミュージアム 動物苑」：ミュージアムクイズ（ミニ企画展のクイズに挑戦）

期間：10月1日（水）～11月3日（月・祝）

参加者数：154人

(成果)

自然観察の森の「森の秋まつり」を核として、秋めぐり「文化の秋を満喫するために、市内施設を巡りませんか？」を合言葉に3施設をめぐるスタンプラリーを実施するとともに、展覧会をより深くご覧いただくためのミュージアムクイズを開催し、施設の魅力を発信できました。

(課題)

3施設間の周遊性が十分ではありませんでした。次年度に向けて、「森の秋まつり」と「としょかんまつり」の同日開催や、それに合わせた歴史民俗博物館（移築民家旧中島家住宅）でのイベント開催等、3施設の連携が強化されるような事業の実施に向けて、各施設間で協議を行うとともに、関係団体等との調整を進めています。

参考資料

令和 7 年度

栗東歴史民俗博物館 重点目標「市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して」

歴史民俗博物館では、歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる資料の収集・保存・調査・研究を進めます。その成果を基に通史展示「栗東の歴史と民俗」の充実に努めるとともに、特集展示・ロビー展示等を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる機会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する“小地域展”では、治田地区から大字上鉤をとりあげ、地域資料の再発掘に努めます。

令和 7 年度は、終戦 80 周年を迎えることから、市の「心をつなぐふるさと栗東」平和都市宣言を受けて開館以来継続している“平和のいしずえ展”について、戦時中を知る市民の体験談から当時の暮らしを知る講座の開催も含め、内容の充実を図ります。また、市内寺院に伝来した美術工芸品を中心に展示し、栗東の歴史と文化を特徴づける宗教文化について改めて紹介する特集展示とその関連企画を開催します。

市民とともに楽しみ、広く活動する博物館を目指して、引き続き市民学芸員の会の活動を支援します。また、自治会やコミュニティセンター、各種文化サークル等が主催する事業への講師派遣等の機会を活かし、歴史民俗博物館の活動をより広く発信する等、栗東の歴史や文化の普及啓発や歴史民俗博物館の利用促進に取り組みます。

一方で、施設や設備の老朽化への対応が喫緊の課題となっています。文化財の活用に関する社会的なニーズが高まりつつある中であって、文化財の収蔵・公開に適した環境を確保するため、大規模改修について具体化するとともに、施設や設備の年次的な更新に努めます。

1. 図書館サービス事業

① 図書館資料の収集

(内容) 図書館蔵書の充実を図るため、「栗東市立図書館資料収集方針」に基づき資料を収集します。

- ・一般図書（5,249冊）、児童図書（625冊、内小林文庫 587冊）、
逐次刊行物等（雑誌 170誌、新聞 14紙）
- ・馬関係の本など郷土資料や各種計画など行政資料の収集

② 貸出及び資料提供

(内容) 1人30冊まで3週間の貸出や資料提供をします。

- ・貸出人数（75,432人）、貸出冊数（367,947冊）、予約冊数（46,240件）

③ レファレンスサービス

(内容) 図書館で利用者の調べ物や質問に対して、図書館員が必要な資料を探すお手伝いや、資料を使って質問に答え、参考になる資料を紹介する等サービスの充実を図ります。

- ・レファレンス資料を収集。職員研修を実施（月1回）

④ 子ども読書活動の推進（重点事業）

(内容) 「第4次栗東市子ども読書活動推進計画」に基づく施策を実施します。（重点事業）

- ・子どもにとって魅力ある蔵書の充実および利用しやすい環境を整備します。

おはなしタイム（職員による絵本の読み聞かせ等）

（本館）月2回（0～2歳児対象1回、3歳児以上対象1回）参加者 254名

（西館）月1回 参加者 68名

おはなし会（ボランティアグループによる絵本の読み聞かせ等）

（本館）りっとうおはなしグループめるへん 月1回予定 参加者 144名

（西館）おはなしグループタンタン 年4回予定 参加者 47名

乳幼児連れ来館者を対象とした会議室開放「あかちゃんひろば」を実施 週1回

- ・学校、園など関係機関と連携し、子どもと本の出会いの場を提供

移動図書館みどり号による市内公共施設への運行

月1回 公立保幼園 10園 10月からは聾話学校 を巡回

貸出人数（4,307人）、貸出冊数（4,945冊）

市内小学一年生巡回おはなし会 5月～7月全9校 児童 643人

小学生へのおすすめ本「ぶかぶか」夏休み号の全児童への配布 7月

「ナツ→ヨム」「なつ チャレンジ」夏休み期間中本の展示

図書館見学の受入れ 8施設（内、小学校5校）

小学生向イベントの実施

ちょっとこわいおはなし会（西館）8/27 参加者 31名

冬休み工作教室 12/26 参加者 15名

中学生チャレンジウィーク 4中学校：13名

・子どもの読書を支える大人への支援

家庭や地域での読み聞かせ支援

すくすく絵本タイム 10月 全2回 参加者 31名

出張絵本講座（児童館等での絵本講座） 5施設 参加者 86名

出前☆としょかん（ゆうあい子どもカレー食堂） 配本：月1回

「としょかん×本屋さん お楽しみディ」（本館） 20名 12/21

⑤ 図書館利用が困難な人への支援

（内容）サービスが必要な方に向けて丁寧に情報発信を行い、文字での読書ならびに来館が困難な方への個々のケースに応じた読書環境の整備を推進する。

・点訳図書、音訳図書、CDブックを収集、提供

録音図書貸出：貸出点数 233点（内、郵送宅配貸出：利用者 3名 11回）

CDブック 8点購入予定 大活字本 37冊購入予定

・ボランティア団体の協力を得ながら対面朗読等を実施

対面朗読：利用者 1名、利用延べ回数 17回

音訳ボランティア養成講座（中級） 7～8月（全5回） 受講者 16名

・外国語図書の収集 外国語図書購入 7冊購入予定

○成果

- ・収集計画に基づき、資料の収集を進め、貸出及び資料提供、レファレンスサービスを実施し、市民が必要とする資料を提供することができました。
- ・読み聞かせ等の定例行事や子ども向きイベントを実施するとともに、移動図書館の訪問先の追加により、子どもたちが身近な場所で絵本の楽しさに触れる機会を提供することができました。
- ・移動図書館による保幼訪問や、小学生向けの行事の実施により、子どもの来館を促し、本や図書館に親しむ機会を提供することができました。
- ・図書館利用が困難な人に向けて、対面朗読や郵送宅配サービスを実施し、読書環境を維持することができました。

○課題

- ・資料購入について、図書価格の値上がりにより購入冊数が減少しており、資料費を増額していく必要があります。
- ・読み聞かせ等の行事は、継続しての読書や来館につながるよう、工夫しながら継続して取組を実施していくのと同じ時に、すべての子どもが本に触れる機会を得られるよう、移動図書館を拡充していく必要があります。
- ・図書館利用が困難な人に対して、引き続き丁寧に情報発信を行い、文字での読書ならびに来館が困難な方への個々のケースに応じた読書環境の整備を推進していく必要があります。

2. その他事業

① 図書館サービスの拡大（重点事業）

- ・本館、西館において図書館の開館日を変更します。月、火を休館日とした週休2日から月曜休館の週休1日に変更します。
- ・新刊案内等の情報を提供（月1回）
- ・本と紹介する「図書館だより」（大人向け）、「ぷかぷか」（子ども向け）の発行
- ・図書のテーマ展示 月1回
「平和のいしずえ」 平和に関する図書の展示 7/19～8/31

- ・司書のおすすめする一冊「シヨイチ」月 1 回 ホームページでも紹介
- ・講演会の開催

和中華の歴史と東海道（本館） 42 名 12/7

あべ弘士講演会「地球は動物でいっぱい」 72 名 6/8

②市民参画事業の実施

- ・市内子ども文庫やボランティア団体の協力を得て、市民協働による図書館事業を推進
図書館ボランティア活動 週 1 回 19 名が登録
としょかんまつり（本館） 図書館ボランティア「マロン」との協働事業
11 月 15 日と 16 日の 2 日間 「くりちゃんマルシェ」を同時開催
「本と珈琲のへや」や書庫ツアー、子ども向け工作教室などを実施

③本館機能の充実並びに施設改修（重点事業）

- ・図書館施設の長寿命化対策を実施
大会議室空調設備更新工事 7 月 中央監視設備改修工事 R 8 年 2 月

④西館機能の充実

- ・学習コーナー「学 BASE」の設置 学習机 36 席
中高校生向け図書コーナーの充実

⑤ 3 施設連携事業の実施

- ・栗東自然観察の森、栗東歴史民俗博物館、栗東市立図書館の 3 施設で連携事業の実施
森の秋まつり 3 施設めぐり 10 月 19 日～11 月 3 日
「みんなをまもるはたらくるま～図書館に消防車がやってくる～」 10/19

○成果

- ・刊行物による本の紹介や特集展示は継続して実施しており、市民が新しい本と出会い、自らの世界を広げる機会となっています。
- ・図書館ボランティアとの協働事業の実施などにより、市民にボランティアとしての活動の機会を提供することができました。
- ・本館の施設改修を行い、より安心して図書館を利用できるようになりました。

○課題

- ・本の紹介について、常に市民の知的好奇心・読書要求を刺激する魅力的なものとなるよう、工夫しながら継続して取り組む必要があります。
- ・としょかんまつりや講座等の事業について、図書館を利用していない市民が来館のきっかけになるよう、引き続き魅力を高めていく必要があります。
- ・本館は開館から 38 年が経過し、改修が必要な設備が多くあり、計画的に改修を進めていくとともに、時代に合った施設改善を行い、良好な施設環境の維持を図る必要があります。